

令和7年2月2日

保護者各位

浦添市立当山小学校
校長 大村 朝彦
(公印省略)

令和7年度 学校評価（12月）の保護者アンケート結果について（お知らせ）

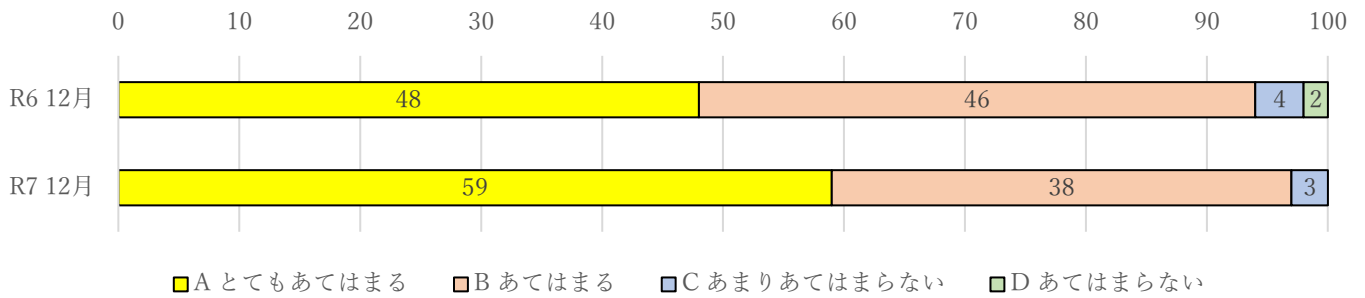
寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝いたします。

さて、去る12月1日（月）～12月11日（木）に実施した学校評価（12月）「保護者アンケート」の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。ご協力、誠にありがとうございました。

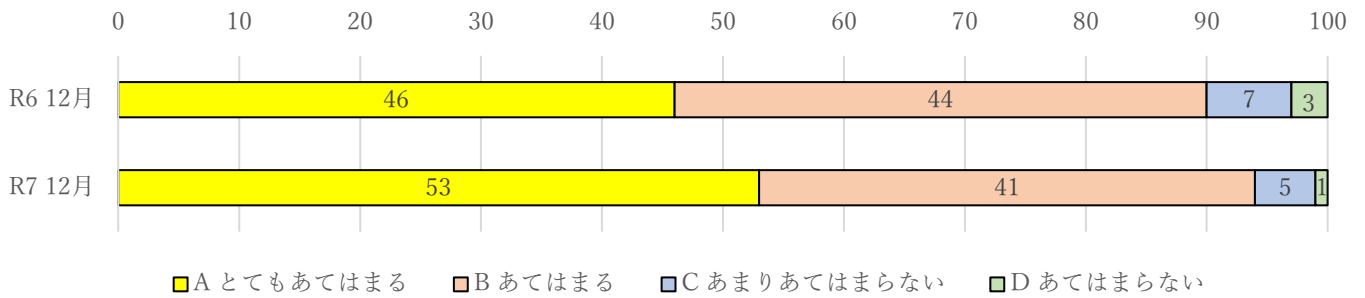
< 12月の学校評価（保護者アンケート）の結果 >



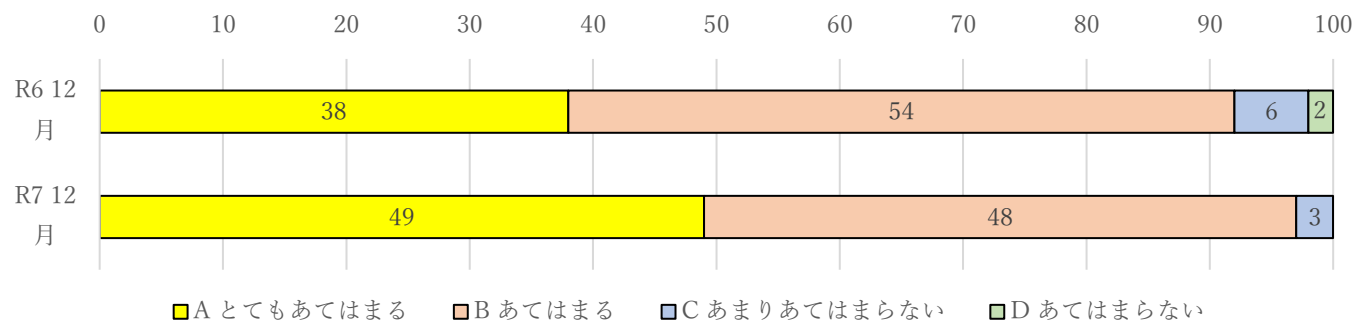
4 先生方は、わかりやすい授業作りに努めている。



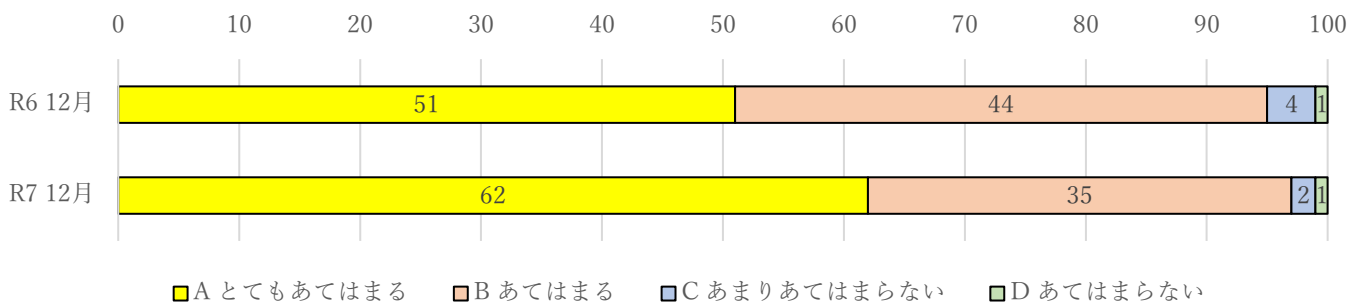
5 先生方は子どもの相談に応じ、子どもの理解に努めている。



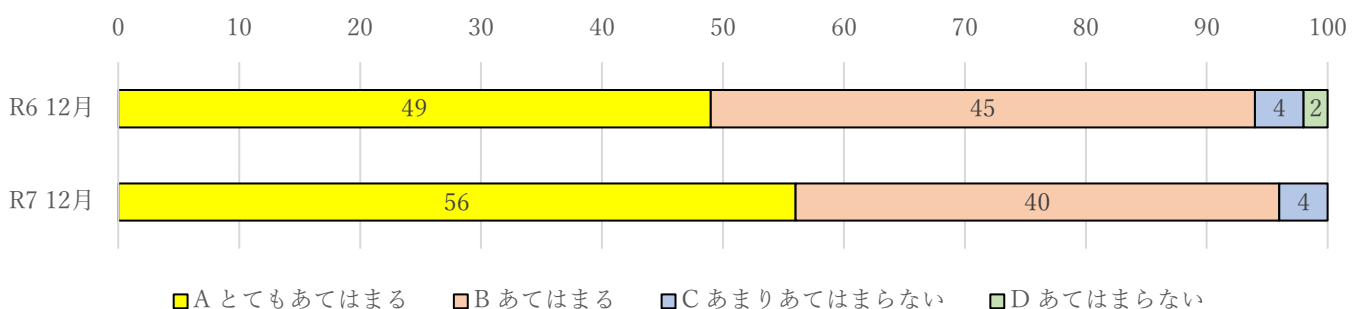
6 先生方はいじめのない学校・学級づくりに努めている。



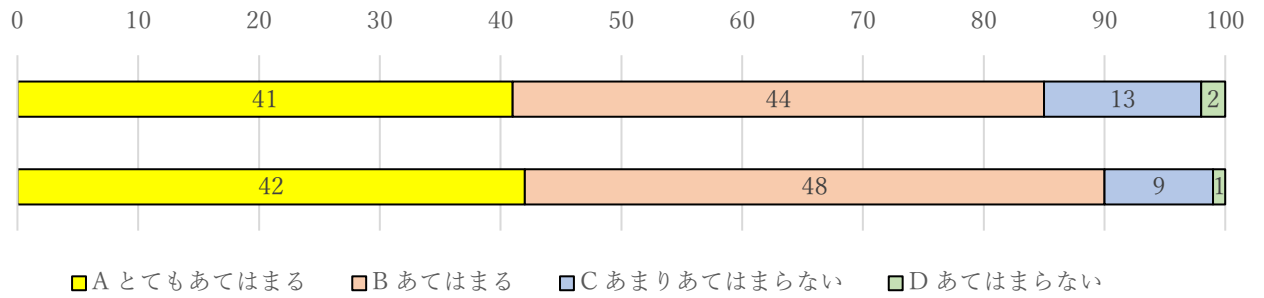
7 先生方は、保護者の相談に対し、丁寧に努めている。



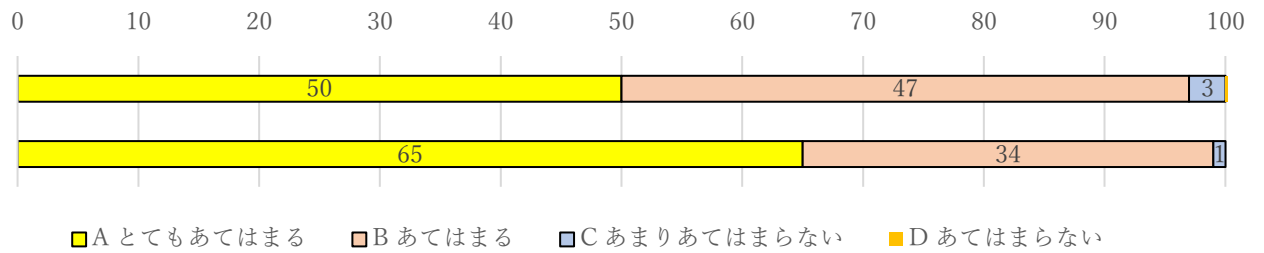
8 学校・学級は、安心して学習できる環境である。



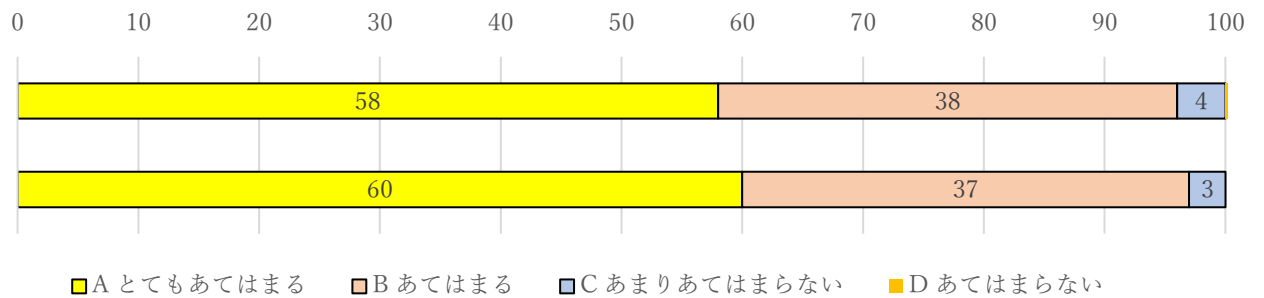
9 学校・学級は日常の取組や子どもの様子をホームページや各種便り等で伝えている。



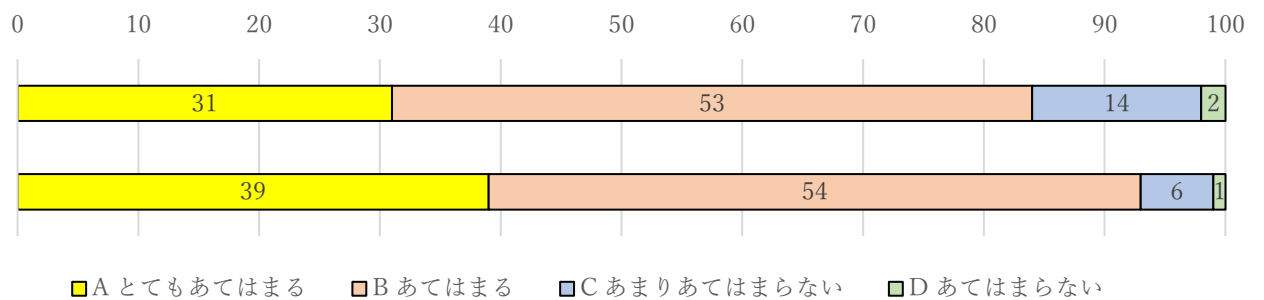
10 学校は、個人面談や授業参観等、保護者の来校できる機会を適切に実施・計画している。



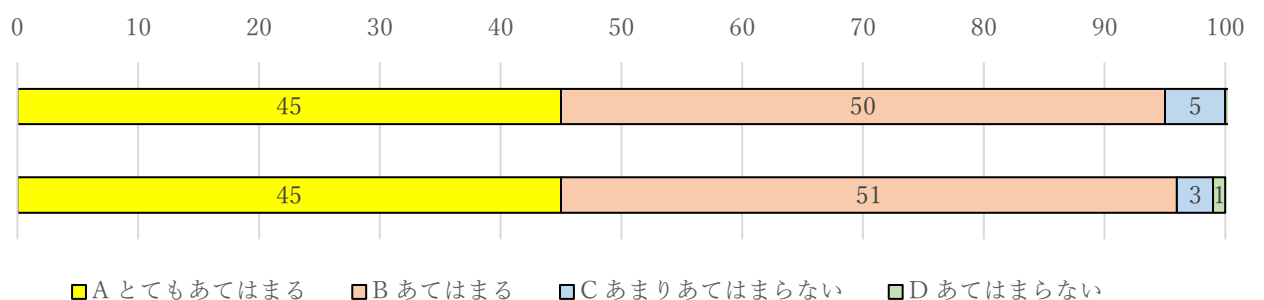
11 お子さんは、友だちと仲良く学校生活を送っている。



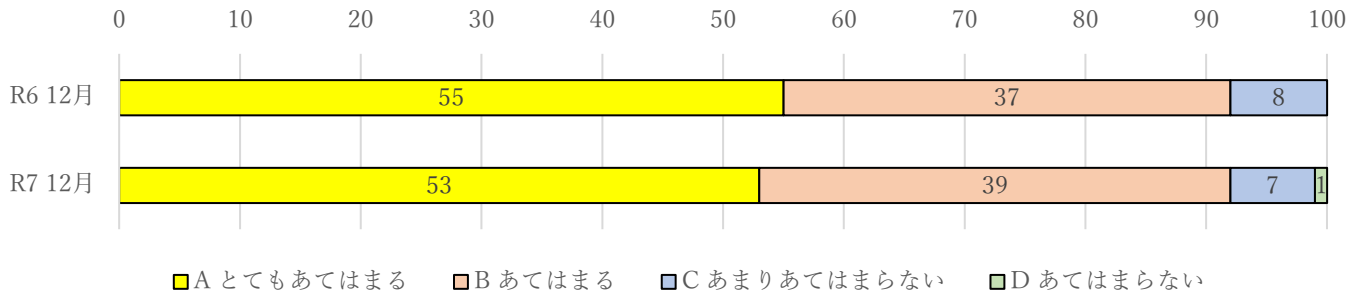
12 お子さんは、学習内容をよく理解している。



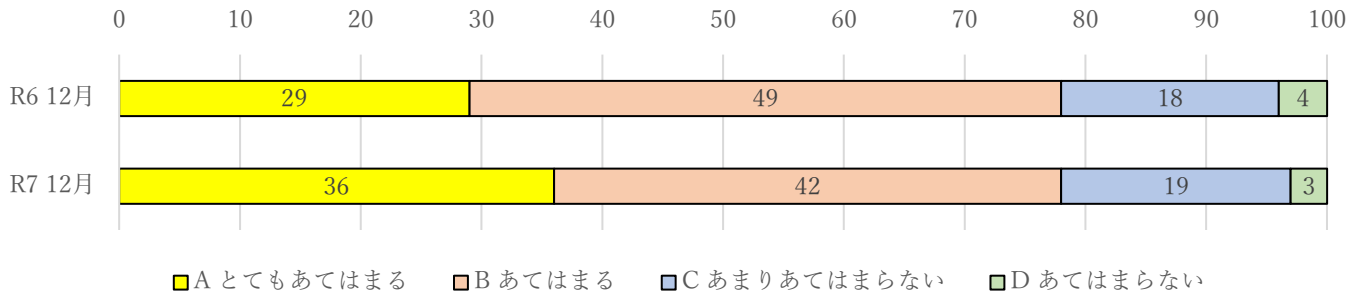
13 お子さんは、きまりを守って安全に過ごしている。



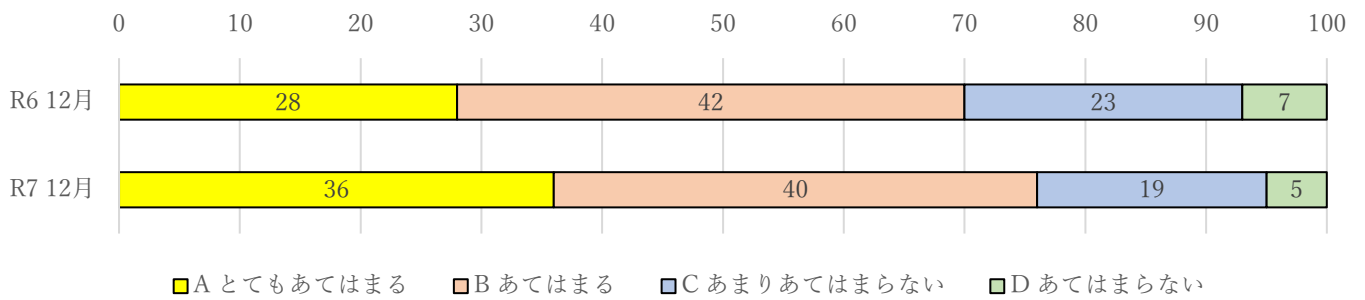
14 お子さんは、早寝、早起きをし、朝ご飯を取っている。



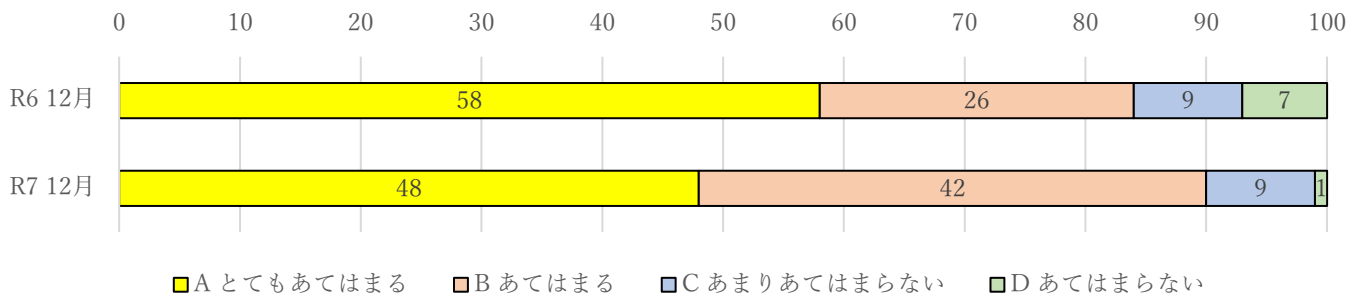
15 お子さんは、進んであいさつをしている。



16 お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいる。



17 お子さんは家庭で、学校のことをよく話す。



令和7年度 12月保護者アンケート結果の分析と考察

1. 全体的な傾向

多くの項目で「A：そう思う」の割合が昨年度を上回り、学校の教育活動に対する肯定的な評価が向上している。特に、教員の指導姿勢や学習環境の整備について、改善の成果が顕著に表れている。

2. 学校・教員の取り組みに関する分析

学校側の活動については、指導の質と安心感の醸成において高い評価を得た。

○授業の質の向上

- ・「わかりやすい授業づくり」への評価（A）が48%から59%へと大幅に上昇した。
- ・「基礎・基本の習得（知育）」についても、Aの割合が51%から57%に伸びており、学力定着への取り組みが評価されている。

○児童理解といじめ防止

- ・「いじめのない学校・学級づくり」への評価（A）は38%から49%へ向上し、学校の姿勢がより信頼される結果となった。
- ・「子どもの話に耳を傾けている」への評価（A）も46%から53%に上昇し、教員の児童理解が深まっていることがうかがえる。

○保護者への対応と機会の提供

- ・「相談への丁寧な対応」の評価（A）は51%から62%へと上昇した。
- ・「個人面談や授業参観の実施」については、Aが50%から65%へと大きく増加し、適切な機会提供がなされていると判断できる。

3. 児童の生活・学習状況に関する分析

児童の家庭での様子や学校生活については、以下の特徴が見られた。

○学習理解の進展

- ・「学習内容をよく理解している」の評価において、C（どちらかといえばそう思わない）とD（そう思わない）の合計が16%から7%へと半減した。学校での授業改善が、児童の実感として反映されている。

○社会性とコミュニケーション

- ・「進んであいさつをしている」の評価（A）は29%から36%に向上したが、依然として肯定回答全体の割合には課題が残る。
- ・「家庭で学校のことをよく話す」は、Aの割合こそ減少（58%から48%）したものの、肯定回答（A+B）で見ると90%という高い水準を維持している。

4. 今後の課題：家庭学習の定着

前年度から引き続き最大の課題となっているのは、「進んで家庭学習に取り組んでいる」の項目である。

- ・本年度も「A：そう思う」は36%に留まり、C（20%）とD（5%）を合わせた否定的な回答が4分の1（25%）を占めている。
- ・昨年度の否定的な回答（30%）に比べれば5ポイントの改善が見られるが、全項目の中で最も評価が低く、学校と家庭が連携して改善に取り組むべき最優先事項といえる。

まとめ

本年度のアンケート結果を昨年度と比較すると、授業の進め方や相談への対応、学校行事の計画など、学校運営の各項目において肯定的な評価の数値が上昇した。今後は、これらの成果を維持しつつ、依然として課題である「家庭学習の習慣化」や「進んで行うあいさつ」など、児童の主体性を育む面での働きかけを強化していく。

学校評価アンケート結果に基づく今後の対応について（回答）

日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

先日実施いたしましたアンケートにおきまして、保護者の皆様から多くの貴重なご意見をいただきました。校内で慎重に検討いたしました今後の対応および方向性について、項目ごとにご回答申し上げます。

1. 教職員による指導と学校生活について

→日頃より本校の教育活動にご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。皆様からの励ましのお言葉は、教職員一同にとって大きな励みとなっております。今後も、児童一人ひとりの状況を丁寧把握し、安心して楽しく学校生活を送れる環境づくりに努めてまいります。

2. 学校行事（運動会・音楽発表会等）のあり方について

→行事のあり方について、貴重なご提案をいただきありがとうございます。感染症対策を経て変化した実施形態については、教育的効果や子どもたちの成長、安全面など、様々な視点から再検討を行っております。皆様からいただいた「他学年との交流」といった視点を大切にしながら、次年度以降の計画に活かしてまいります。

3. 学習指導およびICT機器の活用について

→授業の進め方や家庭学習との連携、デジタル端末の活用について多くのご意見をいただきました。どの児童にとっても分かりやすく、意欲的に取り組める授業づくりのため、指導技術の向上や個別の状況に応じた支援のあり方を研究してまいります。また、家庭との情報共有についても、より円滑に進められるよう工夫を検討いたします。

4. 学校給食の充実と食育について

→給食の内容、栄養面、提供方法に関するご要望をいただきました。学校給食は成長期の児童にとって重要な役割を担うものであると考えております。献立の充実や食材選定については、関係機関と連携を図りながら、より良い食事環境を目指してまいります。

5. 安全対策・施設設備および登下校の安全について

→児童の安全確保と施設環境の改善は、健やかな成長を支えるための不可欠な土台であると考えております。不審者対策や交通安全、熱中症対策、老朽化した設備の改修等については、地域の皆様や自治体とも協議を重ね、優先順位をつけながら改善に向けた働きかけを継続してまいります。

6. その他（行事予定・連絡・家庭との連携など）

→学校生活におけるきめ細かな配慮や、事務負担の軽減に関するご提案をありがとうございます。性教育や着替え時のプライバシー保護、各種費用の集金方法、物品のやり取りに関するルール等については、時代の変化や保護者の皆様のニーズを反映できるよう、柔軟に見直しを検討してまいります。